

がん患者さんにおける腹水治療に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年 5月 31日 ～ 2023年 3月 31日

〔研究課題〕

悪性腹水に対する腹腔穿刺の患者生存に与える影響に関する探索的・後方視観察研究

〔研究目的〕

がん患者さんにとって辛い症状の一つである腹水貯留（悪性腹水）に関して、よりよい悪性腹水治療方法を見出すための足掛かりをつくることを目的とします。

〔研究意義〕

がん患者さんの腹水貯留（悪性腹水）に関して、現在明確な治療法が見つけられていません。悪性腹水に対する、有効性と安全性の伴う治療や症状緩和方法を確立することが求められています。腹腔穿刺（腹水の貯まったお腹の中に針を刺すこと）により腹水を抜くことは速やかな症状緩和が得られる一方で、体内の栄養分も含んだ腹水を喪失することにもなり、頻回に腹水を抜くことが控えられている現状があります。本研究は、安全に、そして症状緩和に有効な腹水の抜き方を見出し、よりよい悪性腹水治療方法を確立させるための足掛かりをつくる意義があります。

〔対象・研究方法〕

過去（2010年1月1日～2021年4月30日）に当院で悪性腹水に対して腹腔穿刺による腹水ドレナージを行った患者さんのカルテ情報を抽出し、がん治療（手術・化学療法など）や各種採血データ、画像所見、生存期間などのデータを収集する予定です。それらのデータを解析し、有効性と安全性の伴う悪性腹水の抜き方を見出します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院緩和ケア内科

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報は匿名化して研究責任者が厳格に管理します。研究成果は個人の同定不可能な形で主要な学会や論文に公表します。

対象となる患者さま・ご家族で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 有賀悦子 研究分担者： 星野隼矢

所属： 帝京大学医学部附属病院 緩和ケア内科

住所： 東京都板橋区加賀 2-11-1

TEL： 03-3964-1211（代表）〔内線 16170〕 Email: s.hoshino@med.teikyo-u.ac.jp